



梅雨空のすっきりしないお天気が続きます。

こんな時こそ、ふだん読もうと思いつつ、なかなか読めない本をじっくり読むチャンスです。

教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。

この『教育ライブラリーだより』では、できるだけ新しいものを中心に時折旧刊も交えながら、教育図書や雑誌などの紹介をしたいと思います。

教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。どうぞご利用ください。

書籍紹介

①「これから始める“GIGA” 全学年・全単元×1人1台端末×活用事例 小学校 理科」

寺本貴啓／編著

(日本標準 2022年4月5日発行)

1人1台端末の使い方を理解するためにとにかく使おうという「普及期」は終わり、現在は、実用的・効果的に使っていく「活用期」。本書は、小学校理科の全単元において、具体的な1人1台端末の活用方法や活用の目的、メリットなどについて整理し、効果的な活用方法が分かりやすく提示されています。1人1台端末の活用に不安のある方、小学校理科の授業に特化した端末の活用法を探している方のニーズに応えてくれます。

②「特別支援教育の基礎・基本2020」

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所／著

(ジアース教育新社 2020年6月17日発行)

「特別支援教育のとおき授業レシピ」

藤原義博・柘植雅義／監修

(学研教育出版 2015年9月18日)

初めて特別支援教育の担当になって戸惑われている方も多いのではないのでしょうか。聞きなれない用語が多いし、授業をどう組み立てればいいのか分からない。そういう時にお薦めの図書がこの2冊です。

「特別支援教育の基礎・基本」では、特別支援教育の基礎理論を学ぶことができます。第1章で特別支援教育の理念や歴史、教育課程について、第2章では各障害別の障害特性や指導法、教育課程の編成等について触れられています。第1章の理念理解には時間と経験を要する部分もあるので、とりあえず概要を大まかに把握して、第2章の各障害に応じた教育の関連する部分に読み進むことをお勧めします。

「特別支援教育のとおき授業レシピ」では、授業計画を立てる際の目標の立て方、授業内容の設定の仕方とそのポイントなどが順序よく解説されています。本書が優れているのは、実践事例が豊富なことと、発達段階に応じて系統的に教育内容を配列した「学習内容表」をもとに「指導計画」がまとめられていることです。子どもの発達段階に応じて授業をどう組み立てていけばいいのかを具体的に知ることができます。知的障害を中心に編成されていますが、その考え方は他の障害種にも十分応用できます。

③「AI に負けない子どもを育てる」

新井紀子／著

(東洋経済新報社 2019 年 11 月 8 日発行)

「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトで有名な国立情報学研究所、新井紀子教授の著書です。前著『AI v.s.教科書が読めない子どもたち』の続編にあたります。新井氏は AI (人工知能) 能力の試金石として大学入試問題を利用するために「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトを始めました。そして、AI が苦手とする日常言語処理に関するより適切な試金石を求めて RST (リーディングスキルテスト) を開発しました。RST は特別な知識を必要とせず、平易な文章をしっかりと読み取ることができれば答えられるように設計されています。しかし、自然言語処理では優位なはずの人間、小学生から高校生までの児童生徒に限らず高学歴の大人でさえ、この文章を読み取れていないことが多かったのです。なぜこのような結果になったのかを研究する中で、「基礎的・汎用的読解力」が今の教育では十分に育成されておらず、それが学力向上や社会に出てからの業務処理能力のネックになっているのかもしれないという事実に気がきます。本書では、幼児期から小学校高学年にいたるまでの各発達段階に応じた「基礎的・汎用的読解力」向上のための方策が提案されています。リーディングスキルテストの体験版も掲載されていますので、一度やってみてはいかがでしょうか。ChatGPT など生成系 AI が進化した現在の状況を著者はどのように解釈するのか、さらなる続編を期待したいところです。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等 (抜粋)
国語教育 (明治図書)	6 月号	特集：「言葉による見方・考え方」を鍛える学習課題 1 2 0 ・ Q&A で読み解く「言葉による見方・考え方」を鍛える学習課題づくりガイド/中村和弘・白石範孝・小林康宏 ・「言葉による見方・考え方」を鍛える学習課題モデル 説明文/文学/古典連載 ・教材別 今月の子どもの「問い」から展開する授業づくり ・国語教師のための「テキスト論」超入門 ・漢字学習 Re デザイン ・スキマ時間に使えるミニ活動アイデア ・わが県の国語ソムリエ
社会科教育 (明治図書)	6 月号	特集：思考ツールを生かした授業&板書モデル ・現代社会で求められる資質・能力と思考ツール ・思考ツールのポテンシャルを 120%引き出す方法 ・授業&板書への思考ツールの生かし方 連載：見方を変えると世界が変わる！「考えたい」社会科授業 ・明日の授業づくりに役立つ！学習指導案の理論と実践モデル ・リアルな世界と日本がわかる！地理授業デザイン ・みんなでゴールに到達できる！課題設定&授業展開スキル
新しい算数研究 (東洋館出版社)	6 月号	特集 1：数と計算領域における数学的な見方・考え方とその成長とは 特集 2：学年進行に伴い事象を考察する際の式の役割は何か ChatGPT と自分事 楽しく学ぶ、おもしろさに触れる 梅雨の時期でも子どもが算数を楽しめるアイデア 子どもの考えは、びっくり！ ドッキリ！ 宝箱☆ モデルに支えられたデータ駆動型の創造的な学び—低学年の事例から

数学教育 (明治図書)	6月号	特集：永久保存版 単元/観点別 定期テスト良問コレクション ・「知識・技能」「思考・判断・表現」単元別 定期テストの良問コレクション ・「主体的に学習に取り組む態度」学期を通した評価の実際 ・高校数学「主体的に学習に取り組む態度」の評価事例 連載・思考のプロセスを重視した「探究的な授業」のデザイン ・数学教師のための「ロイロノート・スクール」活用ガイド ・テセレーションでつくる数学アート・パズル
理科の教育 (東洋館出版社)	6月号	特集：見てください！ あなたの学校の理科室・理科準備室 生徒をひきつける観察・実験/「月の見え方」の学習課題を見つける教材の隠し味/ビーカーと線香の煙を用いた凹レンズの屈折光の可視化 動的なワークシートの実現 「動画」の挿入で子どもの記録が変わる！ 先生はサイエンスマジシャン NEXT/QR コードの秘密
英語教育 (大修館書店)	6月号	特集1：あらためて知っておきたい 英語指導技術の再点検 特集2：実践投稿でシェアする わたしの授業・工夫のしどころ Part 2 連載・チーム中学高校英語 サステナブルな授業磨き ・生徒と英語の距離を縮める 授業運営術 ・レトリック・イン・アクション ・ICT 活用の大ワザ・小ワザ BASIC ・The Great Gatsby 夢と、欲望と、名文と
道徳教育 (明治図書)	6月号	特集：多面的・多角的思考を生み出す発問大全 ・多面的・多角的思考を生み出す発問とは/永田繁雄 ・教材研究から中心発問の設定まで スペシャリストの発問づくり ・目的別 多面的・多角的思考を生み出す発問大全 ・教材別 多面的・多角的思考を生み出す発問大全
授業力&学級経営力 (明治図書)	6月号	特集：実物満載 すごい！ノート指導 ・実物ポイント解説 すごい先生はノートをこう見取り、こう指導する ・有田和正のノート指導 「ノートは思考の作戦基地だ！」 ・発達段階別 ノート指導の押さえどころ ・子どもの「書きたい」が止まらなくなる！ 自主学習ノートの作り方&指導法 ・超多忙でも手早く正確にできる！ ノート点検の裏ワザ ・ノートをワンランクアップさせる指導術 ・ICT スペシャリストに学ぶ！ GIGA スクール時代のノート指導のポイント ・中学生に伝えたい 消える化ノート術 テスト化ノート術
生徒指導 (学事出版)	6月号	インタビュー：「フリーラーニング」という試み/教育 YouTuber 葉一 特集：体罰根絶に向けて ・なぜ体罰は根絶できないのか？ ・部活動における体罰を根絶するために ・子どもと教員の人権 生徒懲戒制度の限界を糸口に ・優しさと知性にこだわる生徒指導の実践 特別企画：誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策 (COCOLO プラン)

教職研修 (教育開発研究所)	6月号	巻頭インタビュー：「こどもまんなか社会」をつくるために/浅野敦行 特集1：学校で「余白」の時間を生み出す ・なぜ、学校には「余白」がないのかーノンストップ労働の影響と深層 ・なぜ、仕事に「余白」が必要か 【実践に学ぶ】「余白」の生み出し方 特集2：いじめ対応、警察とのよりよい手の取り合い方 ・警察と連携したいいじめ対応 - ー一人で抱え込まない、学校だけで抱え込まない ・いじめ解決に向け、警察にできること・できないこと 連載 ・スクールロイヤーと考える学校経営 ・フキゲンな職員室の労働安全衛生を見直そう ・妹尾さんに聞きたい！学校お悩み相談室 ・学校づくりのスパイスー異分野の知に学べ 同調圧力克服法 ・この「失敗」が私を成長させた ・「声かけ」で学校を動かす！北石原校長の12か月 ・フィンランド見聞録ー幸せの国の学校現場から ・データ駆動型社会における「人間」と「教育」
初等教育資料 (東洋館出版社)	6月号	巻頭言：創造力を働かせて未来へ/橋本光明(すみだ北斎美術館長) 教育の扉：デザインで世の中をよくしていきたい/水野学 特集1：文化芸術による創造性豊かな子供の育成 特集2：「特別活動」学習指導要領における指導のポイント 子供に学んだあの風景：「もっと」「きっと」の思いとともに/牧野泰佳 StuDX Style クラウドの活用：共同編集機能を活用した協働的な学び
中等教育資料 (学事出版)	6月号	特集1：学校段階間の接続を踏まえた指導に向けて① ＜国語、社会・地理歴史・公民、数学、理科＞ 特集2：地域と創る防災教育 連載 ・窓 あきらめ妥協するのではなく/豊口和士 ・特色ある教育活動 福岡県・富山県 ・注目 魅力ある先生 長野県 ・世界の教育 コロナ禍で奮闘する先生方 ・チーム学校で特色づくり 地域と共に歩む学校/北海道本別高等学校 ・各教科等の改善/充実の視点 ・高等学校における農業教育
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	6月号	創刊50周年特別企画 未来に向けて考えよう 通常の学級における特別支援教育の今 連載 ・教材づくりからスタート！コンナンデ自立活動/紙皿 ・ダウンロード&印刷して使える！ - 子どもの表現や発達を広げるアート教材/雨を降らせよう！ ・職員室の認知バイアスから抜け出すには/川上康則 ・役立つ経験をとらえて自己の価値を認識する ・iPadアプリを用いて自分の伝えたい思いやイメージを形にする手紙指導 ・カルタ遊びにありがちなミスー「刺激性制御」「刺激等価性」のお話 ・聴覚障害児へのICTを活用した動詞の習得と文構造の理解支援
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	6月号	特集：子どもたちの学びの充実のために、授業のブラッシュアップを図る ・授業力を高めるための授業研究と授業のコンサルテーション/渡邊貴裕 ・児童の特性や興味・関心を活かした授業づくり

		・「知識・技能」を体験や実感とつなげる高等部「数学」の授業実践連載 ・文字や数に至る基礎的な学習 理論編/川間健之介 ・作業学習の「できる状況づくり」作業班実践編 ・エージェンシーを育成する道德教育のユニバーサルアプローチ ・通級指導担当者からの発信 自立活動ホップ・ステップ・ジャンプ ・特別支援学級における ICT 活用の実例
学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)	5月号	特集1：躍動する図書委員会 ・本をもっと身近に ・図書委員会活動を軸につなげる本の世界！ 特集2：読書感想文指導の取り組み ・読解力・記述力を養うための読書指導 ・「考える読書」と「出会い」を目指して 連載・役に立つ！Book Guide ・進化する学校図書館—つなぐ図書館を目指して ・こんな「発信アイデア」いかがですか？ ・言葉に親しむ人を育てる
高校教育 (学事出版)	6月号	特集：高校改革、次の一歩 ・これからの高校教育の在り方 ・「多様化」の30年—いま問われているもの ・本格的な教育内容精選の議論へ 連載・ちょっと拝見 学校訪問 東京都千代田区立 九段中等教育学校 ・実践！ 高校現場の ICT 活用 ・アクティブティーチャーの挑戦 ・教育改革の迷走/妹尾昌俊 ・高校教員のための教育格差入門 ・押さえておきたい大学入試最新情報 ・授業改善のリーダーシップ ・総合探究が高校の魅力化を進める ・生成系 AI「ChatGPT」の衝撃 ・悲鳴をあげる学校 - 学校への要望、苦情そしてイチャモン/小野田正利 ・荒瀬克己の「おとなの探究基礎」 速報：全国公立高校長・副校長・教頭異動一覧
道德と特別活動 (文溪堂)	6月号	特集：児童生徒の学びが深まり、整理される板書とはどのようなものか ・道德科における板書の意義と組み立てる際に必要な視点 ・学級活動の板書の役割と板書づくりの重要な視点 特別対談：小学校教育から見えた、日本の現在地と未来 根掘り葉掘りしつこく聞けないその悩み 代理質問承ります みんなで考え、自己を見つめる特別支援学級での道德指導 学びに必然性（しかけ）をつくる
学校事務 (学事出版)	6月号	特集：思いを伝え、協働するためのコミュニケーション 巻頭インタビュー：コロナ禍の教室で見えたもの 学び場の“身体性” 連載 ・日々を彩るオススメ文具 ・事務職員のための学校理解入門 特別活動の教育的意義 ・「標準職務例」から読み解く！業務のポイント解説 ・勤務時間制度の解説(1) ・つくろう！事務だより 2022年5・11月発行「じむだより」 ・企業の総務部お邪魔します 社員全員がいきいきと働ける全く新しいオフィス/丸紅株式会社

指導と評価 (日本教育評価研究会)	6月号	特集：意欲をはぐくむ 連載 ・学びの支援に役立つ認知理論(5)—テストの活用とその理論 ・多重知性の可能性(2)—キャリア教育と多重知性 ・研修教材としての『生徒指導提要』デジタルテキストの活用法 ・発達障害のある児童生徒への指導について考える
教育ジャーナル (Gakken)	17号	特集1：「個別」ではなく「個別最適」と「協働」。そこには教師の確かな指導性が求められる。田村学教授インタビュー 特集2：学校からいじめをなくそう—子どもたちの活動、大人の備え 仙台市の取組を参考に 特別座談会：多様性×学校教育～多様性の現実、学校での取組 ○「ドローン」と「プログラミング学習」で学区内の盛んな農業について改めて知る！ 真岡市立長沼小学校 ○小学校英語教育で求められる教員の指導力